

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			作業内容や利用児の特性を考えパーテーションや机の配置を工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		職員の入れ替わりに伴い業務内容の把握の研修を計画し実施している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページをさらに活用できるよう改善中
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価はないが多方面（医療、企業、福祉、教育）から助言をいただき支援にいかしている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部・内部研修ともに専門的で質の高いものを企画し職員のレベルアップを図っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用児ごとに提供プログラムを準備し、最も適切な支援方法を考えている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日の個別対応と学校休業日のイベントでの集団活動を組み合わせている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了時に限定せず臨機応変に振り返りや留意点の共有を図っている
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援報告書に支援内容だけではなく利用児の反応や行動観察の状況を具体的に記録している

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要に応じてモニタリングを実施し支援計画の見直しをしている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			管理者や責任者だけでなく職員全員の認識にできるよう研修を進めている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			役職にこだわらず最も状況を理解し判断ができる職員が外部との交渉にあたっている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			スクールカウンセラーや養護教員などとも個別のケースについて情報共有を図っている 一般校で障害者雇用の経験がなく密な連携を実施した
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	サービス利用の対象を小学校高学年以降にしているため、就学前については保護者や相談支援機関からの聴取で情報収集している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			ケース会議や就職活動の支援だけでなく利用児自身が自己理解を深め自分自身の説明をするための資料作成を行っている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	実際に連携したケースはないが、連携の依頼はできている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			子ども食堂へのボランティア参加を定期的 に実施し、イベントを共同企画している
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	コロナ禍の影響で Zoom での参加が主である	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	○			
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか	○			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	○			事前説明会、見学、体験を通して説明を 実施している
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか	○			定期的な勉強会実施や教育相談員や公 認心理師など就労・教育の各分野のエキス パートによる個別相談を実施している
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援しているか	○			保護者と地域の親の会の連携によるイベ ントや定期的な茶話会を開催している
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に周 知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応しているか	○			
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか		○		毎月、行事予定や活動プログラムを事前 に連絡している。活動報告は会報の形で はなくInstagramを活用している
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○			相談や説明は視覚的な配慮を実施しわか りやすい工夫をしている
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか		○		イベントを通して地域住民との交流を図っ ている
非 常 時 等 の 対 応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知しているか	○			
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか		○		月に1度や長期休暇のみの利用児が複 数在籍しているため全利用児の実施はでき ていない
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか	○			

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用開始時のアセスメントでの確認を実施
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			